

新年のごあいさつ



越前町長

内藤 俊三

平成26年の年頭にあたり、謹んでご祝辞を申し上げます。

町民の皆様には、ご家族お揃いでお健やかに新春をお迎えのことと、心からお喜び申し上げます。

また、日頃は町政に対し格別のご支援ご協力を賜り深く感謝とお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、3月に越前町長に就任し、以来、人に優しい政治、公正で公平な町政を基本に、明るくすみよいまちづくりのために全力で取り組んでまいりましたが、まだまだ途についたばかりです。

この間、国政では、3年4か月ぶりに政権に返り咲いた自民・公明両党が、7月の参議院議員通常選挙にも勝利したことから、長年続いた衆参のねじれが解消され、決められる安定的な政治運営が可能となりました。そうした中で、安倍政権は、デフレからの脱却をめざして、アベノミクスを着実に実行し、その結果、円安を追い風に、輸出関連企業の業績が改善するなど、日本

経済に明るい兆しが見え始めています。それに呼応したかのように、日本の象徴とも言える富士山の世界文化遺産への登録や、2020年夏季オリンピック・パラリンピックの東京開催決定、さらには和食の世界無形文化遺産登録など、明るい話題が政権を後押ししています。そうした勢いのままに、今

春からの消費税増税を決定し、さらにはTPP交渉を睨んで、半世紀続いた減反政策の廃止を決定するなど、官邸主導で次々と重要政策が押し進められています。一方で、日中韓の首脳会談が未だ実現せず、中韓両国との関係は冷え切ったままで、外交的には憂慮される状況にあります。そうした国政の中にあつて、福井県選出の国会議員が、次々に国の要職に就かれ、活躍されているのは頼もしい限りです。

また、本町の明るい話題としては、丹生高校ホッケー男子がインターハイと国体の2冠を達成したのをはじめ、小中高の男女ホッケーチームがそれぞれ全国大会で優勝、準優勝するなど、

年間を通じて輝かしい成績を残しました。ようやく、町ぐるみ地域ぐるみで強化に向けて、支援してきた成果が現れ、大変喜んでいきます。来る福井国体には、ホッケーに限らず、各種目において、更なる活躍ができますよう、町民皆様のご支援を旧に倍して賜りたいと存じます。

本町は、平成27年2月1日に合併10周年を迎えます。その一方で、合併特例期間が終了することから、将来を見据えた規律正しい財政構造の確立が求められています。そうした状況にありますが、町では、今年、10周年に合わせて、町民の皆様が少しでも元気になるような各種記念行事を企画しています。そして、この節目の年を町の新たな飛躍の年と位置づけ、産業の振興と生活環境の整備を前面に出しながら、福祉や教育をより一層充実し、子育てが楽しく、年を重ねることに不安を抱くことのない、安らぎと活気に満ちたまちづくりに献身すべく決意を新たに致しています。

年頭にあたり、町民の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げますとともに、本年も格段のお力添えを賜りますよう重ねてお願い申し上げます。新年のごあいさつとさせていただきます。



越前町議会議長

安井 賢二

明けましておめでとうございます。

町民の皆様におかれましては、ご家族お揃いで、輝かしい新春をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。

旧年中は、町議会に対し、皆様方の深いご理解とご協力を賜り、心から感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返ってみますと、夏には高知県四万十川で国内最高気温を更新する41度の猛暑、9月には台風18号により福井県全域に気象庁で初の特別警報を発表し、小浜市で24時間雨量が384ミリと観測史上最多記録になり、甚大な被害がでました。被害者の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

本町議会といたしましても、台風・地震などの災害から町民の生命と財産を守るため、避難所情報、防災計画、各種マップなどのマニュアルの周知徹底するよう、チェックをしてまいります。また、昨年は議会の独自性を発揮す

るため「議会活性化特別委員会」を立ち上げ、委員会において、議員定数を6人削減して、議員の改選が行われ14人の新しい議員のもとで越前町議会がスタートし、まもなく1年が経過しようとしております。

私たち議員は、常に町民の皆様方の付託の重さを認識し、議会の果たすべき役割と責任を全うし、精力的に諸問題に取り組み所存でありますので、本年も議会活動に温かいご支援とご理解をお願い申し上げます。

地方においては、いまだ景気回復を実感していない状況の中、4月からの消費税を現行の5%から8%に引き上げることに伴い、日本がバブル崩壊以降の「失われた20年」から脱却できるかどうかの正念場とも言われています。

また、関税を撤廃し、貿易の自由化を進めるTPP参加や減反政策などの農業問題、原発問題、近隣諸国との外交問題等多くの問題が山積しております。このような状況の中、本町において

も、厳しい財政状況ではありますが、行財政改革や各種事業の推進により、着実に発展してきたものと思います。また、昨年は丹生高校ホッケーが東京国体、高校総体で男子は2冠、女子は東京国体で二位、高校総体で三位、また全日本中学ホッケーでも朝日男子が優勝、女子が三位と全国の強豪校として周知され、「ホッケーの町、越前町」の明るい話題となったところです。しかし、町政において課題はまだまだ多く、治安や防災をはじめ、少子高齢化、教育、福祉、雇用、環境など複雑多岐にわたっています。

町議会は、議員一人ひとりが住民の声を代弁するだけの役割でなく、住民との対話を重ね、住民全体の福祉向上と地域社会の活力ある発展を目指し、その実現に積極的に努力することと、行政が行う「具体的政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」をすべく議会の機能と独自性を発揮していく所存であります。

町民の皆様には、これまで以上に議会傍聴など積極的にご参加いただき、議会に対するご意見やご支援を賜りますよう心からお願ひ申し上げます。

年頭にあたり、町民の皆様の方々のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げます。新年のごあいさつといたします。